市長メッセージ№51

ゴールデン・ウィーク（GW）中の感染拡大に十分ご注意を！

本市の新型コロナの感染状況は、年度変わり特有の活動の活発化と感染力の非常に強いオミクロン株よりさらに強い感染力を持つ派生型 BA.2 への置き換わりにより、3月末から感染が急拡大し、4月12日には、10万人当たりの週間新規陽性者数が過去最多の170．5人となりました。現在は、130人台～140人台に下がっているものの、非常に多いレベルで高止まっており、予断を許さない状況が続いています。

県全体の状況も、福島市より高い水準で同様の推移を示しています。まもなく GW を迎え、会食や帰省・旅行、イベントなど人々の活動が活発になれば、さらなる感染再拡大が生じかねません。

このため、県の感染拡大防止重点対策は、5月15日まで延長されました。今後、感染防止と社会経済活動の両立を図る「ウィズ・コロナ」の道を進んでいくためには、改めて感染防止対策の徹底を図る必要があります。

最近は、家庭での子どもたちからの感染が特に多くなっています。GW を前に、「ご家庭でのコロナ感染対策チェック」に沿って、家庭での感染対策の点検をお願いします。

県ホームページ⇒https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01010a/coronavirus-messagechecklist.html

また、症状がある方はもちろん、症状のある方や濃厚接触者となった家族がいる方も、通勤・登校・登園、旅行などの外出はできる限り控えるようにしてください。さらに、子どもたちの近くで陽性確認に伴う学級閉鎖など出てきたら、家庭内での警戒を強化していただくようお願いします。

昨年は、GW 中にバーベキューなど屋外パーティーでの感染事例が多発しました。大人数や長時間のパーティーは屋外でも避けるなど、十分ご注意ください。

薬局等での無料検査は5月31日まで延長され、GW 中は、県により福島駅西口で臨時無料検査場（抗原定性検査）が設置されることになりました（図1）。旅行・帰省などお出かけの際は、移動先の感染情報を把握し、感染リスクの高い行動は避けるなど、自分が感染しない対策を講じるとともに、その前後で無料検査を受ける、帰福後一週間程度は会食を控えるなど、他人に広げない対策もお願いします。

県内に移動してくる方にも、予めお住いの都道府県で検査を受けるよう促し、来県前にリスクの高い行動をした未検査の方等については、福島駅西口での検査をご活用ください。

3回目のワクチン接種は、4月24日現在、接種が可能な方のうち75．3％の方が予約または接種を済ませていますが、高齢者は93．1％となる一方で、12～49歳までは54．2％に留まっています。6月以降は新たな接種対象者が激減するため、接種可能な医療機関を減らすなど、接種体制を縮小する予定です。接種を希望する方は、できる限り5月中に予約・接種をされるようお勧めします。

なお、市では、NCV ふくしまアリーナでの夜間接種を実施したり、事業所連携接種の対象要件を大幅に緩和したり、家族も可能にするなど、接種を受けやすい環境づくりに努めています。これらも、それぞれのご都合に応じて、積極的にご活用ください。

感染防止を図りながら社会経済活動を継続する「ウィズ・コロナ」を進めていきたいと思います。

市民の皆さまには、以上の点に特に注意しながら、次の留意事項に沿って、感染防止対策の徹底をお願いします。

① 若者中心の感染拡大が増加　⇒資料１に沿って感染防止をしてください。
② 学校、施設、事業所での感染拡大防止は、疑いや初期段階での対応が重要　⇒資料２のお願いを徹底してください。
③ 働き盛りの年代にも波及　⇒事業所では資料３も実施してください。
④ 接待を伴う飲食店等に関係した感染が増加傾向　⇒会食する際は、資料４に沿って行ってください。接待を伴う飲食店等を利用後、気になる無症状の方は、早めに薬局等での無料検査をご利用ください。
⑤ バーベキューなどの屋外パーティーでの会食時のリスク回避を ⇒資料５の感染防止対策の徹底をお願いします。
⑥ 家庭内での感染防止にも十分ご注意を　⇒資料６に沿って実施してください。
⑦ 県外移動をする方は、自分が感染しない対策に加えて、無料検査を受けたり、帰福後一週間程度会食を控えるなど、他人に広げない対策をお願いします。
⑧ 基本的な感染対策（不織布等防御力の強いマスク、こまめな手洗い・消毒、十分な換気など）、リスクの高い場面（マスクなし会話、混雑した場への出入り、大人数・長時間の飲食など）をつくらない対策を徹底してください。
⑨ 陽性者の自宅療養が増加　⇒万が一の感染に備えて、日頃から資料７に沿って食料品、生活必需品、常備薬などの準備をお願いします。
⑩ ワクチン接種は、その種類に関わらず、できる限りすみやかにお受けください。

令和4年4月25日
福島市長　　木幡　浩

図１　福島駅西口広場におけるＧＷ中の臨時無料検査場

設置期間　４月２９日（土）～５月８日（日）
　　１０時～１３時、１４時～１７時
実施場所　JR福島駅西口広場（北側バスプール通路沿い）
実施内容　抗原定性検査

資料１

若者中心の感染拡大

～この活動の特徴に対応した感染防止対策を！～

若者を中心とした感染・クラスターの発生が続いています

※複数での飲食やカラオケ、旅行、宿泊等による感染です。

大人数での パーティ

カラオケ

旅 行

みんなが楽しく過ごすために！

一人一人が、**感染しない**（うつらない）、
感染させない（うつさない）対策・取り組みをお願いします。

資料２

市民・事業者・施設の皆さまへの５つのお願い

①	少しでも症状がある方は、出勤・登校・登園を控えてください。
②	事業所・施設の管理・指導者は、健康観察を徹底し、 症状が見られた方に自宅療養を促してください。
③	症状が軽い方は、まず受診・相談センター（0120－567－747）や かかりつけ医に電話相談をしてください。
④	症状のある方や濃厚接触者となった方がいる家庭では、家庭内で感染を広げない対策を徹底してください。 濃厚接触者（特にお子さん）がいる場合は、加えて、健康観察期間中は十分に注意し、他の家族も、できれば 3日程度出勤・登校・登園を控えるようご協力をお願いします。
⑤	事業所・施設の皆さまは、職員・利用者の家族（特にお子さん）が濃厚接触者となった場合には、職員・利用 者も、症状がなくてもできれば3日程度出勤・利用等を控えるよう、ご協力をお願いします。

資料３

働き盛りの年代に感染が拡大しています!!

～事業所で陽性者の報告があったらどうする？～

改めて確認

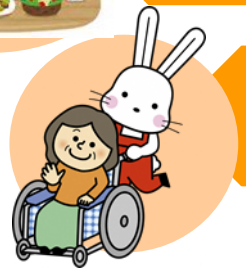
感染を拡大させないための3つのポイント

1.事業所内に、他に有症状者がいないか調査

・症状がある従業員は、直ちに帰宅させ、医療機関の受診をすすめる。

2.陽性者とマスクを外して接触していないか確認

・陽性者と飲食をした従業員（濃厚接触者）は、7日間の自宅待機とする。



3.陽性者と接触した人は、ハイリスクの方との接触を避ける

・陽性者と接触があった従業員は、高齢者施設等への訪問は、7日間は避けるようにする。

プラス1　3回目のワクチン接種もお早めに

先手の対応が業務の支障を最低限に抑える！

まずは、職場の感染対策をチェック（↓施設調査表をご活用ください）

https://www.city.fukushima.fukushima.jp/hoken-chiiki-hoken2/shingatakorona.html

資料４

会食時における留意事項

会食時は感染リスクに注意！

同じグループ・テーブルでの会食は**４人以内**で、

「ふくしま感染防止対策認定店」を利用してください。

ふくしま
感染防止対策
認定店
福島県

【留意事項】

① 大声やマスクなしでの会話はしないこと。
② 密（密閉、密集、密接）は一つでも避けること。
③ 深酒はしないこと。
④ 体調不良の場合は参加しないこと。
⑤ 普段接触の機会の少ない人と会食する際は、参加者の健康状態などに細心の注意を払うこと。

新たな傾向

接待を伴う飲食店等に関連した感染が増加しています

症状がある方

かかりつけ医、または受診・相談センター（☎0120-567-747）にご相談ください。

症状がなく感染が不安な方

無料で検査が受けられます　※市内薬局・中央市民プールで実施中

早期の受診と相談・検査が感染拡大防止につながります

資料５

BBQや屋外パーティーを楽しむ皆様へのお願い

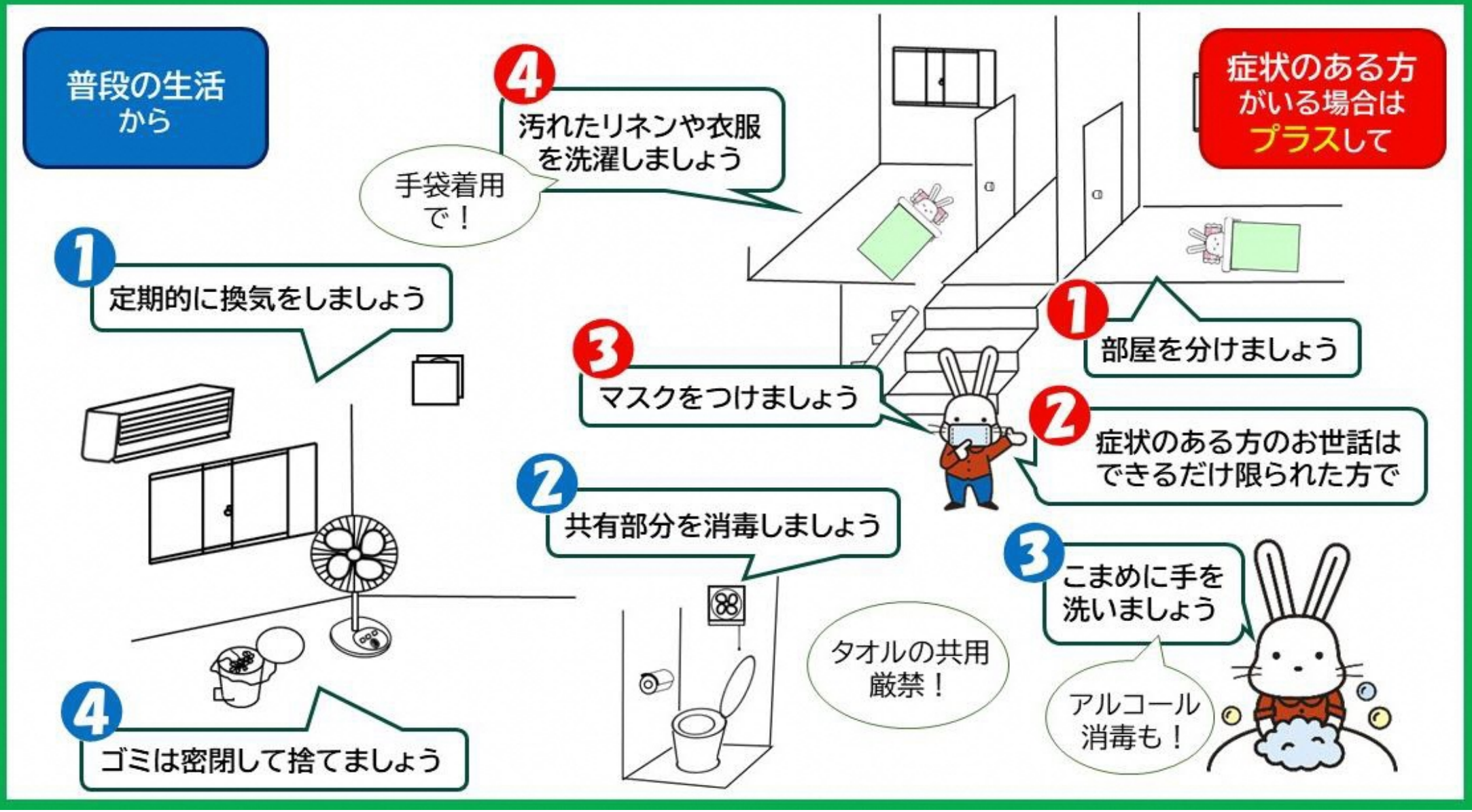
感染が急拡大中！感染防止対策の徹底をお願いします

特に

×マスクなし会話
×シート等を設けての大人数での飲食
×混雑する場所での長時間の滞在　はお控えください

資料６

家庭内で感染を広げないための4＋4つのポイント



資料７

自宅療養に備えておきたいもの

食料品

【水分補給ができるもの】
〇スポーツ飲料・経口補水液
〇ゼリー飲料　など

【体調がすぐれない時でも食べられるもの】
〇レトルトのおかゆ・パックご飯
〇そうめん・うどん　など

【調理が不要で簡単に食べられるもの】
〇レトルト食品
〇缶詰
〇インスタント味噌汁
〇冷凍食品　など

日用品

【くすり類】 ※保険証はすぐ持ち出せるように
〇常備薬・持病の薬　〇解熱鎮痛剤
〇お薬手帳

【衛生品】
〇体温計（電池を確認）　〇アルコール消毒液
〇不織布マスク　〇ハンドソープ

【日用品】
〇トイレットペーパー　〇ティッシュペーパー
〇ゴミ袋　〇使い捨て手袋
〇生理用品
〇オムツ・おしりふき（家族構成によって）

普段使用している食料品や日用品を少し多めに備える「**日常備蓄**」を実践しましょう。1～2週間分**を目安に備えておきましょう。**